

＜手紙の書き方教室＞

6月19日（月）に、郵便局のご協力により4年生を対象とした「手紙の書き方教室」を実施いたしました。はがきのあて名の書き方や心を込めた手紙の書き方など、講師の向井嵩様よりていねいに教えていただきました。当日は、昭島郵便局の長田局長様、吉越部長様、昭島つつじが丘ハイツ郵便局の島内局長様なども見守ってくださる中、和やかに学習を進めることができました。

夏休みの暑中見舞いなど、実際に手紙を出す活動に取り組んでくれることを願っています。

＜特別支援教育講演会＞

6月17日（土）に、全国特別支援学級設置学校長協会の元会長である河本眞一様を講師にお迎えして、特別支援教育講演会を行いました。当日は40名の方々に参加していただき、会場はいっぱいとなりました。皆様が熱心に聞き入る様子から、特別支援教育に対する関心の高さを感じ、学校としても今まで以上に真剣に取り組むを進めていく必要性を感じました。参加していただいた皆様に感謝いたします。

秋の特別支援教室開設に向けて、また発信を行ってまいります。

何かお気付きの点などありましたら、学校までお問合せください。

＜起震車体験＞

6月27日（火）、毎月1回行われている避難訓練の際に、6年生を対象として昭島消防署のご協力により起震車体験を実施いたしました。地震は「いつ」「どこで」起こるのかわかりません。大人がそばにいないと、適切な判断と行動を行い、自分の命は自分で守ることができる力を身に付けられるよう、体験的に学ぶことができました。

＜夢☆未来プロジェクト＞

6月29日（木）に車いすバスケットボールで、北京・ロンドン・リオと3大会連続でパラリンピックに出場した宮島徹也選手をお迎えして、「夢☆未来プロジェクト」として、お話を伺うことや車いすバスケットボールの体験・交流活動を3・4・6年生が行いました。

運動が苦手だったけれど、バスケットボールと出会ったことによって、運動が得意になったことや、足を切断したことで気持ちが落ち込んだこと、そこから車いすバスケットボールに気持ちを向けていったことなどのお話は、どの学年の子供たちも真剣に聞き入っていました。その後、車いすに乗ることやいすに座ったままシュートを打つことなど、体験的に競技や車いすの生活に理解を深めていくことができました。貴重な体験に感謝し、宮島選手が2020年の東京大会でも活躍できることを願っています。